

2009121

 大正薬品工業株式会社

滋賀県甲賀市甲賀町大原市場3  
Tel : 0748-88-3366

## 効能・効果、用法・用量追加のご案内

マクロライド系抗生物質製剤

# マインベース錠200

日本薬局方 クラリスロマイシン錠

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、マクロライド系抗生物質製剤 **マインベース錠 200** (有効成分:クラリスロマイシン) につきまして、2009年10月7日付にて、効能・効果、用法・用量の追加承認を取得いたしましたのでご案内申し上げます。

謹白

記

新旧対照表 ( 部追加箇所 )

(旧)	(新)
<p>【効能・効果】</p> <p><b>1. 一般感染症</b></p> <p>&lt;適応菌種&gt;</p> <p>本剤に感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、モラクセラ(ブランハメラ)・カタラーリス、インフルエンザ菌、レジオネラ属、カンピロバクター属、ヘプトストレプトコッカス属、クラミジア属、マイコプラズマ属</p> <p>&lt;適応症&gt;</p> <p>表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、肛門周囲膿瘍、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、慢性呼吸器病変の二次感染、尿道炎、子宮頸管炎、感染性腸炎、中耳炎、副鼻腔炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎</p>	<p>【効能・効果】</p> <p><b>1. 一般感染症</b></p> <p>&lt;適応菌種&gt;</p> <p>本剤に感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、モラクセラ(ブランハメラ)・カタラーリス、インフルエンザ菌、レジオネラ属、カンピロバクター属、ヘプトストレプトコッカス属、クラミジア属、マイコプラズマ属</p> <p>&lt;適応症&gt;</p> <p>表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、肛門周囲膿瘍、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、慢性呼吸器病変の二次感染、尿道炎、子宮頸管炎、感染性腸炎、中耳炎、副鼻腔炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎</p> <p><b>2. 非結核性抗酸菌症</b></p> <p>&lt;適応菌種&gt;</p> <p>本剤に感性のマイコバクテリウム属</p> <p>&lt;適応症&gt;</p> <p><u>マイコバクテリウム・アビウムコンプレックス(MAC)症を含む非結核性抗酸菌症</u></p>

裏面へ

(旧)	(新)
<p><b>2.胃潰瘍・十二指腸潰瘍におけるヘリコバクター・ピロリ感染症</b>            &lt;適応菌種&gt;            本剤に感性のヘリコバクター・ピロリ            &lt;適応症&gt;            胃潰瘍・十二指腸潰瘍におけるヘリコバクター・ピロリ感染症</p> <p>【用法・用量】</p> <p><b>1.一般感染症</b>            通常、成人にはクラリスロマイシンとして1日 400mg(力価)を2回に分けて経口投与する。            なお、年齢、症状により適宜増減する。</p> <p><b>2.胃潰瘍・十二指腸潰瘍におけるヘリコバクター・ピロリ感染症</b>            クラリスロマイシン、アモキシシリン及びランソプラゾール併用の場合            通常、成人にはクラリスロマイシンとして1回 200mg(力価)、アモキシシリンとして1回 750mg(力価)及びランソプラゾールとして1回 30mgの3剤を同時に1日2回、7日間経口投与する。なお、クラリスロマイシンは、必要に応じて適宜増量することができる。ただし、1回 400mg(力価)1日2回を上限とする。            クラリスロマイシン、アモキシシリン及びオメプラゾール併用の場合            通常、成人にはクラリスロマイシンとして1回 200mg(力価)、アモキシシリンとして1回 750mg(力価)及びオメプラゾールとして1回 20mgの3剤を同時に1日2回、7日間経口投与する。            なお、クラリスロマイシンは、必要に応じて適宜増量することができる。ただし、1回 400mg(力価)1日2回を上限とする。</p>	<p><b>3.胃潰瘍・十二指腸潰瘍におけるヘリコバクター・ピロリ感染症</b>            &lt;適応菌種&gt;            本剤に感性のヘリコバクター・ピロリ            &lt;適応症&gt;            胃潰瘍・十二指腸潰瘍におけるヘリコバクター・ピロリ感染症</p> <p>【用法・用量】</p> <p><b>1.一般感染症</b>            通常、成人にはクラリスロマイシンとして1日 400mg(力価)を2回に分けて経口投与する。            なお、年齢、症状により適宜増減する。</p> <p><b>2.非結核性抗酸菌症</b>  <u>通常、成人にはクラリスロマイシンとして1日 800mg(力価)を2回に分けて経口投与する。</u>  <u>なお、年齢、症状により適宜増減する。</u></p> <p><b>3.胃潰瘍・十二指腸潰瘍におけるヘリコバクター・ピロリ感染症</b>            クラリスロマイシン、アモキシシリン水和物及びランソプラゾール併用の場合            通常、成人にはクラリスロマイシンとして1回 200mg(力価)、アモキシシリン水和物として1回 750mg(力価)及びランソプラゾールとして1回 30mgの3剤を同時に1日2回、7日間経口投与する。なお、クラリスロマイシンは、必要に応じて適宜増量することができる。ただし、1回 400mg(力価)1日2回を上限とする。            クラリスロマイシン、アモキシシリン水和物及びオメプラゾール併用の場合            通常、成人にはクラリスロマイシンとして1回 200mg(力価)、アモキシシリン水和物として1回 750mg(力価)及びオメプラゾールとして1回 20mgの3剤を同時に1日2回、7日間経口投与する。            なお、クラリスロマイシンは、必要に応じて適宜増量することができる。ただし、1回 400mg(力価)1日2回を上限とする。</p>